

各 位

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル
 代表者 代表取締役社長 鈴木 健史
 (コード番号 9695)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 四野宮 章
 (TEL 04-7094-5581)

特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,800	40	△10	85	8.14
今回修正予想(B)	1,952	79	41	94	9.08
増減額(B-A)	152	39	51	9	
増減率(%)	8.4	97.5	—	10.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	1,688	△39	△76	△92	5.63

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	△40	△140	30	2.87
今回修正予想(B)	3,600	50	△35	35	3.35
増減額(B-A)	300	90	105	5	
増減率(%)	9.1	—	—	16.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	3,281	△124	△197	21	2.08

修正の理由

1. 特別利益の発生について

東京電力株式会社の福島第一原子力発電所における事故に伴う観光風評被害の損害賠償額につきまして本日合意いたしましたので、賠償額13百万円を特別利益に計上いたします。

2. 平成26年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想について

当第2四半期累計期間におきましては、アベノミクス効果による個人消費の改善や最需要期の夏季期間が好天に恵まれる等により、ホテル関連事業が好調に推移したことが増収増益の要因であります。特に、鴨川グランドホテルが夏季期間において震災前水準近くまで回復したこと並びにビジネスホテルが引続きFC化の効果で高稼働率を維持できたことが主要因です。

このような状況の中、営業収益は、前回予想額から152百万円増加の1,952百万円を見込んでおります。

収益につきましては、人件費・経費の削減や諸施策の実施等により営業利益79百万円と前回予想を上回りました。経常利益は前回予想額より51百万円増加の41百万円、四半期純利益は前回予想額より9百万円増加し94百万円の見込みであります。

(2) 通期の業績見通し

主力ホテルである鴨川グランドホテルは、震災前水準への回復にはもうしばらく時間がかかるものと思われませんが、営業収益につきましては、ホテル関連を中心に300百万円改善し3,600百万円を見込んでおります。

収益につきましては、諸施策の奏功と人件費・経費の圧縮により、営業利益は90百万円改善し50百万円を計上、黒字に転換する見込みであります。経常損失も予想を大きく上回る改善が図れる見込みとなりました。当期純利益は前回予想より微増の35百万円を見込んでおります。

注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上